

第 262 回倫理委員会議事録

日 時：2026 年 5 月 11 日（月）15：00～15：56

場 所：独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
管理棟 2 階 第二小会議室

出席者：

委 員 長	木下 貴之	東京医療センター 副院長
副委員長	小山田 吉孝	東京医療センター 統括診療部長
委 員	高見沢 愛弓	東京医療センター 看護部長
委 員	軍司 剛宏	東京医療センター 薬剤部長
委 員	須河 恭敬	東京医療センター 臨床腫瘍科科长
委 員	武藤 正美	東京医療センター 副看護部長

（オンラインによる出席）

外部委員	服部 篤美	東海大学 教授
外部委員	芳賀 智之	資生堂株式会社 元社員
外部委員	望月 浩一郎	パークス(PAX)法律事務所 弁護士
外部委員	雲財 寛	広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授

欠席者：

委 員	角田 和繁	東京医療センター 視覚研究部長
-----	-------	-----------------

（敬称略）

議事要旨：

1. 審議事項

①R26-010「手指消毒啓発活動による手指消毒使用量の変化と看護師の意識変容」

研究申請者	渡辺 佳奈枝	東京医療センター	手術室	看護師
研究者等	田村 忠史	東京医療センター	6階 B 病棟	看護師
研究者等	矢野 愛	東京医療センター	6階 B 病棟	看護師長

本審査について、以下の指摘事項への対応が確認された。また、2)、3)、4)、7)、9)、12) の事項を条件として、全会一致で承認された。ただし、対象者の任意性が担保されていない部分、手指消毒薬個人使用量の情報取得や経験年数等の個人情報保護について検討し、不十分な場合は継続審査とする。

1) 指摘事項 No.1、説明同意文書について：

指摘どおり、掲示文書を作成し、P29 と P57 に「同意確認欄」を設けた。

本研究の介入は日常業務の延長（教育、掲示、声かけ、相互チェック、フィードバック）であるため個別の文書同意は行わない。なお、アンケート調査は新たに取得するデータとなるため、研究協力依頼の掲示文書（ポスター）および説明文書を作成し、アンケート冒頭に同意確認欄を設け、チェックボックスで同意確認をする旨、回答された。→委員会として承認された。

2) 指摘事項 No.2～4、研究参加の任意性について：

アンケート調査は任意参加である旨、回答された。

→対象者数と予定症例数が同数である。小グループ内の同調圧力への配慮が必要である。対象者の母数を増やす、あるいは予定症例数を 10 名程度に減らすのはどうかという意見が出された。

→10 名以上に回答をいただいた場合、10 名をどうセレクトするのかという質問があった。

→できれば、回答はすべて利用したい。（研究者）

→やはり、研究参加の任意性が担保されない。もう少し検討してほしいという意見が出された。

3) 指摘事項 No.5、手指消毒剤の個人使用量について：

使用量は既存の業務データを用いる。研究者が研究目的で新たに個人の使用状況を観察・記録しないという旨、回答された。

→ポスターを見ても「私の個人使用量データを使わないでほしい」と伝える方法が不明瞭であるという意見が出された。

→研究計画書およびポスターを修正する。（研究者）

4) 指摘事項 No.5、手指消毒剤の個人使用量について：

→アンケート調査は匿名である。匿名では既存データと紐付けられない。既存データとどう照合するのかという質問が出された。

→個人量は必要なのか。総数のデータを研究に使うのはどうかという意見が出された。

→アンケート内で「手指消毒の使用量（mL）」を回答してもらうのはどうかという意見が出された。

5) 指摘事項 No.6、研究参加の任意性について：上記 2) と同様。

6) 指摘事項 No.6、誤記修正：

指摘どおり、P17、7 行目の「自由意志」→「自由意思」に修正した。

7) 指摘事項 No.7、アンケート最後の四角枠について：

今回は修正が間に合わなかったが、指摘どおり、ポスター、アンケートの記載を回答のように修正対応する。

8) 指摘事項 No.8、ポスター内の商品名記載について：

指摘どおり、商品名が識別できない画像に修正した。

9) 指摘事項 No.9、経験年数の幅について：

既に「1～3 年、4～6 年、7～10 年、11 年以上」といった幅を持たせている。また、経験年数以外の属性は収集しないという回答があった。

→研究者は拒否した対象者の氏名が分かるため、個人特定できてしまう。そもそも看護師の経験年数を聞く必要があるのか。分析に関わらないなら、「経験年数」の項目を入れない、あるいは、「10 年以下・10 年以上」と大きな幅にしてはどうかという意見が出された。

→持ち帰って検討する。(研究者)

10) 指摘事項 No.10、誤記修正：

指摘どおり、アンケート「選択肢 6」を削除した。

11) 委員会より、手指消毒剤の種類について質問があった。

→ICT 監修の下、病院全体で本剤を採用している旨、回答された。

→委員会より、承認された。

12) 外部データ分析について：

研究者に個人が特定できないよう、データ分析を外部に依頼するのはどうかという意見が出された。

2. 報告事項

○前回議事録

・第261回倫理委員会（2026年4月6日開催）の議事録（案）は全員一致で承認された。

○迅速審査（当日配布資料）

・以下①～⑩の課題について、細則にのっとって迅速審査で承認あるいは条件付き承認とした旨、木下委員長より報告された。

①R25-090「頸椎圧迫性脊髄症に対する片開き式椎弓形成術と筋温存型選択的椎弓切除術の治療成績および入院治療費の比較」（R23-082の変更申請）

研究申請者 海苔 聡 東京医療センター 整形外科 副医長

②R25-092「関東域内の大腸癌手術症例に対する多施設共同研究グループ

Kanto Colorectal Cancer Research Group (KCCRG) によるデータ集積」

(R25-022の変更申請)

研究申請者 石 志紘 東京医療センター 一般・消化器外科 科長
(坂本 恭子)

③R25-093「タゾバクタム・ピペラシリンの投与と低カリウム血症の関連性—ICU・HCU入院患者を対象とした単施設観察研究—」（R24-005の変更申請）

研究申請者 赤岩 愛記 東京医療センター 薬剤部 薬剤師

④R25-094「染色体または遺伝子に変化を伴う疾患群の遺伝子診断」（R23-100の変更申請）

研究申請者 山澤 一樹 東京医療センター 臨床遺伝センター 医長

⑤R25-095「脂肪注入併用乳房再建の安全性および有効性に関する多施設共同後ろ向き研究」

研究申請者 岡 愛子 東京医療センター 形成外科 医員

⑥R25-096「スマートフォンとウェアラブルデバイスで取得される活動量等と関節症状との関連を明らかにする研究」（R20-035の変更申請）

研究申請者 泉 啓介 東京医療センター リウマチ・膠原病内科 非常勤医師

(小西 美沙子)

⑦R25-097「既採取検体の病理組織学的検討による肺がん等胸部悪性腫瘍の生物学的特性とバイオマーカーの研究」(R21-143 の変更申請)

研究申請者 小山田 吉孝 東京医療センター 統括診療部長
(持丸 貴生)

⑧R26-012「pStageⅡ 結腸癌のハイリスク因子に関する検討」(R21-086 の変更申請)

研究申請者 島田 岳洋 東京医療センター 一般・消化器外科 医長
(坂本 恭子)

⑨R26-013「眼科疾患における DNA、RNA、タンパク質、細胞の網羅的解析」(R25-063 の変更申請)

研究申請者 岩田 岳 東京医療センター 臨床研究センター
名誉分子細胞生物学研究部長

⑩R26-015「破骨細胞様巨細胞を伴う乳癌の臨床病理学的検討」

研究申請者 村田 有也 東京医療センター 臨床検査科 医長

○研究経過/終了/中止報告書 (58 件、4 件、1 件)

○中央倫理審査委員会 (NHO ネットワーク共同研究) (0 件)

○安全性情報等に関する報告書 (0 件)

木下委員長より、研究経過、終了、中止報告書の報告が示された。

【次回の倫理委員会】

2026 年 6 月 1 日 (月) 15 時～